

ファストフード店での顔認証決済の実験が始まる

◆ファーストキッチンが顔認証決済の実証実験

2021年12月からハンバーガーチェーンのファーストキッチンが顔認証決済の実証実験を始めた。顔認証は顔を使った生体認証システムのひとつで、これを決済と組み合わせたのが顔認証決済である。キャッシュレス決済の一つとしてダイドリンコが自販機で、セブンイレブンが実証実験を行っているが、ファーストキッチンのようなファストフードの店舗で行うのはおそらく日本初である。

ファーストキッチンは注文・会計処理の迅速化・省力化を狙っている。実験では、事前に顔登録などを行い、セルフレジで注文した商品を顔認証で決済する。具体的な決済はクレジットカードか、同社のリチャージ式プリペイドカード「マイファーストカード」を使用する。



ファーストキッチンの顔認証決済
出所：ファーストキッチン「2021.11.01「顔認証決済」実証実験開始のお知らせ」

◆顔認証決済のメリットと普及するための課題

顔認証決済のメリットは、利用者にとって支払いが容易である、パスワードが不要である、店側にとって省力化の手段になる、非接触による衛生面でのアピールができるなどである。例えば、利用者は顔をカメラに向けるだけで支払いができ、現金を持ち歩く必要がなく、パスワードを忘れる心配もないことは他の決済手段にない大きなメリットである。店にとり現金受け渡し、クレジットカードの暗証番号入力、スマホのバーコード読み取りなどが不要になれば、レジでの接客時間が短縮でき、省力化になる。タッチレスでの決済を新型コロナ対策になるとして衛生面でアピールもできる。

ただ、顔認証決済には課題も残っている。例えば、逆光や極端に明るい場所、暗い場所では精度が落ちる。個人情報である顔を使用する不安は簡単には解消できない。電子マネーやスマホ決済など競合も多い。これらの問題に取り組み、解決することがキャッシュレス決済の主流になるには今後必要だろう。【藤井和則】